
令和3年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和3年3月4日

質問者（質問順）

- 1 安西英俊 委員（公明党）
- 2 みわ智恵美 委員（共産党）
- 3 青木亮祐 委員（自民党）
- 4 草間 剛 委員（自民党）
- 5 ふじい 芳明 委員（立民フ）

国 際 局

局 別 審 査

1 安 西 英 俊 委 員 (公 明 党)

1 令和3年度国際局予算について

(1) 令和3年度国際局予算に対する所感を伺いたい。

2 庁内国際人材育成事業について

(1) 提案型海外都市派遣研修の狙いについて伺いたい。

(2) 過去3か年の提案型海外都市派遣研修の実績について伺いたい。

(3) オンライン研修を積極的に取り入れ、海外の機関・団体等が主催する研修への職員の参加を促進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 海外プロジェクト推進事業について

(1) 姉妹・友好都市等との連携の目的について伺いたい。

(2) 令和2年度に実施した主な国際連携事業について伺いたい。

(3) 自由な交流が制限される中でこそ、長年築いてきた友好関係の維持が重要と考えるが、見解を伺いたい。

4 シティネット事業について

(1) シティネット横浜プロジェクトオフィスの概要について伺いたい。

(2) シティネット横浜プロジェクトオフィスを通じた、会員都市との知見の共有方法について伺いたい。

(3) コロナ禍における事業の進め方について伺いたい。

5 Y-P O R T 事業について

(1) 令和2年度Y-P O R T事業のオンライン会議等の実績について伺いたい。

(2) アジア・スマートシティ会議の開催結果について伺いたい。

(3) デジタル技術を活用したビジネスマッチングの取組実績について伺いたい。

(4) Y-P O R T事業を進める上で、戦略的にデジタル技術活用を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

6 多文化共生について

- (1) 令和2年度における外国人向け広報の実施状況について伺いたい。
- (2) 様々な広報手段の中で最も効果的と考える取組について伺いたい。
- (3) ワクチン接種に当たってどのように効果的な広報を展開するのか伺いたい。
- (4) 関係団体等へのアンケートやヒアリングを通じて、効果的な広報の手法について検証すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 外国人向けの広報については、日本人向けとは異なる戦略をもって対応していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

7 国際機関誘致について

- (1) 「横浜国際協力センター」の設置趣旨について伺いたい。
- (2) 国際機関誘致に向けて、これまで取り組んだ内容について伺いたい。
- (3) 報道された国際機関の概要について伺いたい。
- (4) 報道された国際機関との協議状況について伺いたい。
- (5) 新たに国際機関が横浜に来ることの効果について伺いたい。

8 国際平和の推進について

- (1) これまでの国際平和推進事業の実績と評価について伺いたい。
- (2) コロナ禍を踏まえた国際平和講演会の今後の開催について伺いたい。
- (3) 若い世代への平和啓発の進め方について伺いたい。
- (4) 核兵器禁止条約の発効を受け、唯一の戦争被爆国である日本が、核兵器なき世界に向けた取組をリードすべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

2 み わ 智恵美 委員（共産党）

1 核兵器禁止条約の発効を受けた核兵器廃絶への取組強化について

- (1) 広島、長崎の被爆者の証言を直接伺う機会が減少していく中で、次の世代に核兵器の脅威を伝え、核兵器廃絶への思いを育むために、横浜市として、広島、長崎へ市民・親子派遣などを行うことが大事と考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 横浜市のホームページに、核兵器禁止条約に関わる署名に関するページを設けるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 国に対して核兵器禁止条約への署名・批准を求めることについての考え方を伺いたい。

2 多文化共生のまちづくりについて

- (1) 多文化共生の考え方について伺いたい。
- (2) 在住外国人増加の中で迎えたコロナ禍の相談内容について伺いたい。
- (3) 在住外国人への医療相談体制について伺いたい。
- (4) 国際交流ラウンジの充実の考え方を伺いたい。
- (5) 国際交流ラウンジに市の職員を配置すべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 国際協力の推進について

- (1) 横浜国際協力センターの設置目的について伺いたい。
- (2) 国連WFP（世界食糧計画）等の国際協力センター入居国際機関との連携内容について伺いたい。
- (3) 横浜市国際平和講演会へのアクセス件数について伺いたい。
- (4) 横浜市国際平和講演会のアクセス件数に対する評価について伺いたい。
- (5) 国際協力センター入居国際機関への市民にアピールできる場の提供内容について伺いたい。
- (6) 地球的規模の課題に取り組んでいる国際機関を支える国際協力センターを横浜市が持っている意義がもっと達成される取組が必要と考えるが、見解を伺い

たい。

(7) 2027年に開催される予定の国際園芸博覧会に、国際協力センター入居の国際機関にも参画してもらうなどの働きかけが必要と考えるが、見解を伺いたい。

(8) 国際局予算が少ない中、地球的規模の課題に取り組む国際組織を置く横浜として、グリーンリカバリーなど地球的規模の課題への貢献、国際社会の平和と繁栄など、世界の諸都市と力を合わせてどう進めていくのか、副市長に見解を伺いたい。

(要望) 国際協力センター入居の国際機関等による講演会を市が講演料を負担して様々な場所で開催する、国際局として地球的規模の課題を市民の皆様に伝えていく、世界の諸都市との連携を進めるなど、予算を増やし、意気高く取り組んでほしい。

3 青木亮祐委員（自民党）

1 コロナ禍の海外事務所の事業活動について

- (1) 令和2年度の海外事務所の事業活動状況について伺いたい。
 - (2) 上海事務所の取組について伺いたい。
 - (3) フランクフルト事務所の取組について伺いたい。
 - (4) 米州事務所の取組について伺いたい。
 - (5) ムンバイ事務所の取組について伺いたい。
 - (6) 令和3年度のムンバイ事務所の東南アジアでのビジネス支援の具体的な取組について伺いたい。
- (要望) アフターコロナにおいては、ムンバイ事務所への駐在を再開し、横浜におけるインド・東南アジアの窓口として、その先のアフリカへも通じるような拠点としての役割を果たすことを要望する。

2 Y-PORT事業について

- (1) 「インフラシステム海外展開戦略2025」に対する認識について伺いたい。
- (2) 国の戦略を踏まえた今後の取組について伺いたい。
- (3) 国の戦略を市内企業支援に着実に結びつけていくことへの意気込みについて伺いたい。

3 シティネットについて

- (1) フィリピン・マカティ市とのプロジェクトの概要について伺いたい。
 - (2) プロジェクトを進めるに当たっての工夫点について伺いたい。
 - (3) プロジェクトに対するマカティ市参加者の声について伺いたい。
 - (4) プロジェクトにおけるオンラインによる取組とその評価について伺いたい。
- (要望) デジタル社会に向け、先進的なAIやデータも活用した国際協力についても検討・取組を行うことを要望する。

4 市内小中学校とアフリカとの交流について

- (1) T I C A D 7開催に伴う「アフリカとの一校一国」の実績について伺いたい。
- (2) 令和2年度の「アフリカとの一校一国」の実績について伺いたい。
- (3) 令和3年度の「市内小中学校とアフリカとの交流」の方向性について伺いたい。

5 多文化共生について

- (1) 横浜が外国人に選ばれるために取り組むべきことに対する認識について伺いたい。
- (2) 令和3年度における国際局の主要な取組について伺いたい。
- (3) 外国人の生活をより快適にするためのデジタル化の取組状況について伺いたい。
- (4) 横浜市として、高度専門職を含めた幅広い外国人材の受入れを推進すべきと考えるが、副市長に見解を伺いたい。
- (5) 外国人材の受入れという海外から入ってくる方への支援と、留学など横浜から海外に出ていく方への支援の、双方向で取り組むことが国際局にとって重要であり、国際都市横浜のアピールにつながると考えるが、見解を伺いたい。

1 アフリカとの一校一国について

- (1) 4年後に日本でアフリカ開発会議を行うなら横浜に誘致すべきという姿勢の中、アフリカとの一校一国はどうなるのか伺いたい。
- (2) G I G Aスクールにより、多くの子供たちが、アフリカの国とより身近にオンラインでつながることができるようになるのだから、アフリカとの一校一国はこれから進化して行ってほしいと考えるが、副市長の見解を伺いたい。
(要望) 教育委員会と連携して、アフリカとの一校一国を進めていくように要望する。

2 パスポートセンター運営事業について

- (1) センター南パスポートセンターに対する市民の皆様からの評価について伺いたい。
- (2) センター南パスポートセンターの利用者は何人くらいか伺いたい。
- (3) 窓口アンケート調査結果についての所感を伺いたい。
- (4) 「おもてなしの行政サービス」を提供するための工夫について伺いたい。
- (5) 職員等の対応力の向上のために行っている取組の内容について伺いたい。
(意見) 県からの権限移譲により市が実施することで、行政の窓口が雰囲気も含めてここまでできるということを示す誇るべき事業だと思うので、いい先例としていくとよいと思う。

3 Y-P O R T 事業について

- (1) Y-P O R Tセンターの情報発信機能の強化方法について伺いたい。
- (2) I D E Cの国際ビジネス支援と比較したY-P O R T事業の特色について伺いたい。
- (3) Y-P O R TセンターとI D E Cとの連携について、副市長に伺いたい。
- (4) アジア・スマートシティ会議におけるY U S Aとの連携方法について伺いたい。

(5) YUSAなどを通じ横浜における環境イノベーションを誘発し、海外に展開していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 国際関連事業の学生参加（グローバル時代における次世代の育成）について

(1) 国際局発足以降、国際局が実施したイベントで大学生が携わったイベント数について伺いたい。

(2) アフリカ開発学生会議の成果と課題について伺いたい。

(3) 世界を目指す若者応援事業で留学したOB・OGを組織化し、横浜の国際事業に積極的に参加してもらうべきと考えるが、見解を伺いたい。

(4) 横浜市立大学など市内大学の学生が参加する国際交流インカレサークルと連携し、継続的に国際交流を推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 姉妹都市とのオンライン交流について

(1) これまでの議論を踏まえた姉妹都市とのオンライン交流の可能性について伺いたい。

(2) 国際戦略に掲げるデジタル化による姉妹都市交流の活性化へ向けた意気込みについて伺いたい。

6 これからの国際局・国際事業の展望について

(1) 外国人人材を市職員として採用し積極的に活用していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) 国際局の職員など市役所内の国際人材は定年退職後も海外で活躍すべきと考える。まずは国際局職員に意識啓発をしていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(3) 在外外国人が大使になり横浜をPRする、無償ボランティアの横浜市国際親善大使制度を創設し、世界に大使を増やすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(4) 国際局創成期で見た課題について伺いたい。

(5) 国際局創成期で見た可能性について伺いたい。

5 ふじい 芳 明 委員（立民フ）

1 海外事務所の感染症対策及び駐在員の意向確認並びに今後の展開について

- (1) 海外事務所の新型コロナウイルスの感染対策の状況について伺いたい。
- (2) 新型コロナウイルス感染症に、海外事務所だけではなく市としてしっかりと対策をしたのかどうか伺いたい。
- (3) 駐在員の赴任期間や家族の同伴に関する規範的なルールについて伺いたい。
- (4) 駐在員の選考基準について伺いたい。
- (5) 駐在員の赴任・帰任に際しての本人の意向確認について伺いたい。
- (6) 海外事務所の活動の今後の展開について伺いたい。
- (7) 海外事務所は他局と連携して取り組んでいくことが重要と思うが、副市長に見解を伺いたい。

2 横浜市パスポートセンター運営事業の今後の展開について

- (1) 歳入と歳出の関係が分かりにくいので、パスポート発給事務分はいくら、というふうに明確にして働いている方にしっかり認識できるようにすべきと考えるが、副市長に見解を伺いたい。
- (2) できる限り、市の運営費負担を減らすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 窓口業務を民間委託する理由について伺いたい。
- (4) 申請受理件数が減少状況にある中でのセンター南パスポートセンターの今後の運営について伺いたい。

3 シティネット事業及び国際協力推進事業の今後の取組について

- (1) 防災分科会におけるこれまでの取組内容について伺いたい。
- (2) シティネット事業の今後の取組について伺いたい。
- (3) 国際協力推進事業の目的について伺いたい。
- (4) 国際協力センター入居の国際機関とのこれまでの連携事業について伺いたい。
- (5) それぞれの活動が広く市民に伝わるための工夫が必要と考えるが、見解を伺いたい。

4 Y-P O R T事業を通じたカーボンニュートラル社会の実現について

- (1) 市内企業が海外都市のカーボンニュートラルに貢献した実績について伺いたい。
- (2) カーボンニュートラル実現による新たなビジネス機会を捉えた市内企業のインフラビジネスの案件形成支援の進め方について伺いたい。
- (3) Y-P O R T事業の展開先を、活動実績のない地域に拡大する取組について伺いたい。
- (4) 横浜市はアドバイザー以外にも、より積極的にインフラビジネス展開に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 海外でカーボンニュートラル事業を目指す市内企業の支援には、庁内連携がより一層重要になると考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) Y-P O R T事業を通じて、地球温暖化をはじめとする世界の都市課題に貢献しながら、市内企業のビジネス機会を創出するよう要望する。

5 多文化共生社会の実現について

- (1) 横浜市多文化共生総合相談センターの活動状況について伺いたい。
- (2) 相談件数が多いが、多文化共生総合相談センターで対応できているのか伺いたい。
- (3) よこはま日本語学習支援センターの活動状況について伺いたい。
- (4) 両センターの円滑な運営を進めるための横浜市の役割について伺いたい。
- (5) 横浜市国際交流ラウンジの利用状況について伺いたい。
- (6) 国際交流ラウンジが取り組む地域課題の内容について伺いたい。
- (7) 外国人材受入れ・多文化共生推進にかかる広報の内容について伺いたい。
- (8) SNSやインターネットによる広報の実施状況を国際局としてどのように確認しているのか。
- (9) 横浜市の多文化共生社会の実現に向けた取組に対する所感について、副市長に伺いたい。